

西明石活性化プロジェクト協議会

まちづくりの姿

NISHI-AKASHI





NISHI-AKASHI





も く じ

はじめに

- 1 . 検 討 の 背 景 ————— p.01
- 2 . 地 域 の「 資 源 」と「 課 題 」 ————— p.03
- 3 . ま ち づ く り ビ ジ ョ ン ————— p.11
- 4 . ま ち づ く り 方 針 ————— p.12
- 5 . 今 後 の ま ち づ く り に む け て ————— p.15

おわりに







はじめに

西明石地域は、新幹線停車駅という交通利便性と藤江～松江海岸などの明石を代表する自然景観を有した魅力ある地域です。一方で、当地域はＪＲにより南北２地域に分断されており、これまで各小中学校区で独自のまちづくりが進められてきたため、西明石地域全体で地域の将来像を共有することはありませんでした。

そこで、私たち「西明石活性化プロジェクト協議会」は、西明石駅周辺を中心として西明石地域南北の一体化を図るため、西明石地域の目指すべき“まちづくりの姿”をまとめることを目的に、平成23年4月に発足しました。

発足からこれまで４年間、南北の地域を互いに知ることから始め、駅前でのヒアリング、西明石地域に居住する方へのアンケート調査や説明会、ニュースの発行を通して、西明石地域にお住まいの方々のご意見を幅広く集約し、各小中学校区それぞれの思いを、１つの提言としてとりまとめました。ご意見を頂戴いたしました皆さま、ご協力いただきました皆さま、誠にありがとうございます。

暮らしやすく、活気ある西明石地域を実現するためには、多くの人が自分たちのまちの特長や課題を共有し、積極的にまちづくりに関わるとともに、住民と行政との良好なパートナーシップを築き、「要望・要求型」から「提案・協働型」のアイデアをどれだけ実行することができるかにかかっています。

この提言の実現にあたっては、検討すべき課題も多々あると思いますが、明石市におかれましては、ここに込められた私たちの思いを十分にお汲み取りいただき、さらに専門的な視点でご検討いただくことにより、私たちが理想とするまちづくりに向けて、早い時期にまず第一歩を踏み出すことができるよう強くお願いいたします。

西明石活性化プロジェクト協議会

会 長 三 輪 康 一



1 検討の背景

西明石地域は、大規模工場などの産業集積やＪＲ西明石駅の交通利便性の高さを背景に発展してきました。しかし、少子高齢化、人口の減少、経済の低迷など様々な社会情勢にあるなか、鉄道などによる西明石地域の南北の分断、駅及び駅周辺の安全性と利便性、駅への交通アクセスや行政サービスなどに課題があることから、地域の活力が低下している状況にあります。

このような様々な課題に対応し、まちの魅力を高め、地域の活性化、西明石地域の南北の一体化を図ることを目的として、西明石活性化プロジェクト協議会を発足しました。協議会では、地域と行政が協働しながら課題解決に取り組み、新幹線西明石駅を中心とした広域的な明石の玄関口にふさわしいまちを形成するよう、『まちづくりの姿』について検討を進めてきました。

【西明石地域の概要】

まちの成り立ち

戦後、川崎航空機専用駅が一般の「西明石駅」として開業すると共に、西明石地域の市街化は始まりました。駅の北側は、区画整理などによる宅地の整備、南側は公営住宅やＪＲ社宅、民間開発による住宅の整備が進められてきました。新幹線の開通（西明石駅の設置）、在来線の新快速停車、明姫幹線の開通など、鉄道・道路網などが整備され、交通利便の高いまちとして西明石地域は発展してきました。

現在の土地利用

ＪＲ西明石駅周辺では商業・業務系の施設が集積しています。また、ＪＲ西明石駅南東側には川崎重工をはじめとした工業地が形成されています。その他は概ね住宅地となっていますが、南部や北部においては農地も残っています。

自然環境・みどり環境

南部には、藤江～松江海岸や藤江漁港があり、北部には、野々池を始め、谷池、雲楽池などため池も点在しています。駅北側の上ヶ池公園、臨海部の松江公園などが地域の公園として整備されています。野々池と上ヶ池公園を結ぶ西明石緑道も貴重なみどり環境となっています。

人口・世帯数の変化

駅の南北とも、人口は約３万人、世帯数は約１.３万世帯です。しかし、駅の南側は、震災後人口約３.４万人だったものが、平成１７年頃までに３万人を割り込むまで減少しました。また、高齢化率は、駅の南（２２.４％）が市平均（２１.１％）より高く、北側（１８.５％）は市平均より低くなっています。



【協議会の活動経過】

当協議会は、平成23年4月に発足し、西明石地域の現状把握と課題抽出を行いました。平成24年度はこれらの課題の内、「西明石駅及び駅周辺の整備」「地域の交流拠点」といった最優先課題について掘り下げ、平成25～26年度に4年間の活動を『まちづくりの姿』としてとりまとめました。

平成23年度

西明石地域の現状把握と課題抽出

地域共通の資源と課題

●地域共通の課題

各校区の資源と課題

●各校区の課題

「協議会ニュース創刊号」発行

最優先課題

平成24年度

最優先課題の掘り下げ

関係者へのヒアリング
住民へのアンケート

- 西明石駅及び駅周辺の整備
 - ・西明石駅を利用する上での課題
 - ・西明石駅周辺の課題
- 地域の交流拠点
 - ・行政サービス、地域活動、交流のための公的施設

「協議会ニュース第2号」発行

最優先課題以外の課題

- 地域共通の課題
- 各校区の課題

平成25～
26年度

『まちづくりの姿』のとりまとめ

各校区における説明会

- まちづくりビジョン
 - ・将来像と目標
- まちづくり方針
 - － 最優先課題への方針
 - － 最優先課題以外の課題への方針
- 今後のまちづくりにむけて

「協議会ニュース第3号」発行



2 地域の「資源」と「課題」

西明石地域の現状の「資源」と「課題」について、以下のようにまとめました。

資源（魅力的なもの）

新幹線や新快速が停車するJR西明石駅の交通利便性の高さ、豊かな自然環境や繋がりの強い地域コミュニティなど、西明石地域が持つ魅力を「地域共通の資源」、各校区が持つ魅力を「各校区の資源」として、次のとおりとりまとめました。

地域 共通の 資源

- 市内唯一の新幹線停車駅（交通利便性）
- 豊かな自然環境
（藤江～松江海岸、野々池、緑道など）
- 買い物など利便性の高い西明石駅及び駅周辺
- 繋がりの強い地域コミュニティ
- 西明石活性化プロジェクト協議会での情報の共有化や意見交換

各校区 の 資源

【地域資源】

- 谷池（和坂）
- 上ヶ池公園（鳥羽・沢池）
- 野々池（鳥羽・沢池）
- 藤江～松江海岸（藤江）
- 松江公園（藤江）
- 西明石緑道（沢池）

【交流施設】

- はなぞの広場（花園）
- よっといで（貴崎）
- 校区のコミセン

【校区毎のまちづくり】

- 防災マップの作成
- 防災訓練
- 各種団体（自治会、PTA、子供会）との連携
- 住民健康診断の実施
- 市の空き施設を利用したコミュニティ活動 など



課題（困っていること）

J R西明石駅への交通アクセスが悪く、利用者にとって駅施設の使い勝手が悪いことや、地域活動・交流のための施設が不足していることなど、地域共通で困っていることを「地域共通の課題」、各校区で困っていることを「各校区の課題」として、次のとおりとりまとめました。

さらに、「J R西明石駅及び駅周辺の安全性と利便性が低い」と「行政サービス機能及び地域交流拠点が不足している」の2つは、最優先課題として課題の掘り下げを行い、具体的な内容までまとめました。

地域 共通の 課題

最優先課題

- J R西明石駅及び駅周辺の安全性と利便性が低い

- ・東口は高齢者や障がい者では利用が困難
- ・東口の南北を往き来する自由通路の利便性が低い
- ・西口自家用車乗降場の利便性が低い
- ・駅への交通アクセスが困難
- ・魅力的な商業施設が不足している

- 行政サービス機能及び地域交流拠点が不足している

- ・行政サービス機能
- ・子育て施設
- ・文化施設
- ・子育て世帯や高齢者の交流施設
- ・広い集会所
- ・その他（情報提供コーナー、教室等）

- 災害時や通行上の危険性が高い（防災力が低い、歩道が少ない、国道2号などの慢性的な渋滞など）
- 南畑踏切の開いている時間が短く危険である
- まちかどのベンチやスペースなど、休憩する場所が少ない
- 市内唯一の新幹線停車駅として、広報などの魅力アピールが不足している
- ソフトの活動の情報交流が図れていない
- ハードとソフトが連携出来ていない
- 西明石地域の商店街が衰退している
- 歩行者や自転車にとって、鉄道などにより南北の往来が不自由である
- 医療、福祉、子育て支援施設が不足している

各校区 の 課題

- 谷池の環境悪化や更なる活用が図れていない（和坂）
- 野々池貯水池の更なる活用が図れていない（鳥羽・沢池）
- 建物が密集し、狭隘な道が多く、危険である（沢池、藤江）
- 歩道が少なく危ない（貴崎）

- たこバスのルートや便数が不足している（沢池、貴崎、藤江）
- 藤江～松江海岸の更なる活用が図れていない（藤江）
- 公園、広場などが不足している（花園・貴崎）
- 商店街が衰退している（花園）



西明石地域全体の「課題（困っていること）」

西明石地域全体の「課題」





(困っていること)」を地図へ落とし込みました。



地域共通の課題

最優先課題

● J R 西明石駅及び駅周辺の安全性と利便性が低い

- ・ 東口は高齢者や障がい者では利用が困難
- ・ 東口の南北を往き来する自由通路の利便性が低い
- ・ 西口自家用車乗降場の利便性が低い
- ・ 駅への交通アクセスが困難
- ・ 魅力的な商業施設が不足している

● 行政サービス機能及び地域交流拠点が不足している

- ・ 行政サービス機能
- ・ 子育て施設
- ・ 文化施設
- ・ 子育て世帯や高齢者の交流施設
- ・ 広い集会所
- ・ その他(情報提供コーナー、教室等)

● 災害時や通行上の危険性が高い

(防災力が低い、歩道が少ない、
国道 2 号などの慢性的な渋滞 など)

● 南畑踏切の開いている時間が短く危険である

● まちかどのベンチやスペースなど、休憩する場所が少ない

● 市内唯一の新幹線停車駅として、広報などの魅力アピールが不足している

● ソフトの活動の情報交流が図れていない

● ハードとソフトが連携出来ていない

● 西明石地域の商店街が衰退している

● 歩行者や自転車にとって、鉄道などにより南北の往来が不自由である

● 医療、福祉、子育て支援施設が不足している



西明石地域全体の「課題」と「目指すこと」

西明石地域の将来像(まちづくりビジョン)を検討するため、西明石地域の「課題(困っていること)」をどういった方向性で解決していくべきか「目指すこと」を次のとおり整理しました。

課題(困っていること)			●：抽出した課題 ・：掘り下げた具体的な課題
最優先課題	地域共通	●JR西明石駅及び駅周辺の安全性と利便性が低い	・東口は高齢者や障がい者では利用が困難
			・東口の南北を往き来する自由通路の利便性が低い
			・西口自家用車乗降場の利便性が低い
			・駅への交通アクセスが困難
			・魅力的な商業施設が不足している
		●行政サービス機能及び地域交流拠点が不足している	・行政サービス機能
			・子育て施設
			・文化施設
			・子育て世帯や高齢者の交流施設
			・広い集会所
			・その他(情報提供コーナー、教室等)
最優先課題以外の課題	地域共通	●災害時や通行上の危険性が高い (防災力が低い、歩道が少ない、国道2号などの慢性的な渋滞 など)	
		●南畑踏切の開いている時間が短く危険である	
		●まちかどのベンチやスペースなど、休憩する場所が少ない	
		●市内唯一の新幹線停車駅として、広報などの魅力アピールが不足している	
		●ソフトの活動の情報交流が図れていない	
		●ハードとソフトが連携出来ていない	
		●西明石地域の商店街が衰退している	
		●歩行者や自転車にとって、鉄道などにより南北の往来が不自由である	
		●医療、福祉、子育て支援施設が不足している	
	各校区	和坂	●谷池の環境悪化や更なる活用が図れていない
		鳥羽・沢池	●野々池貯水池の更なる活用が図れていない
		沢池・藤江	●建物が密集し、狭隘な道が多く、危険である
		沢池・貴崎・藤江	●たこバスのルートや便数が不足している
		藤江	●藤江～松江海岸の更なる活用が図れていない
	各校区	花園・貴崎	●公園、広場などが不足している
		花園	●商店街が衰退している
		貴崎	●歩道が少なく危ない



最優先課題については課題の掘り下げを行ったため、具体的な課題の内容までまとめることができ、課題に対する「目指すこと」も明確化することができています。

目指すこと

- ：各課題に対する目指すこと
- ・：掘り下げた課題に対する目指すこと

最優先課題	地 域 共 通		● J R 西明石駅及び 駅周辺の安全性と 利便性の向上	・ 東口の改札からホームまでのバリアフリー化
				・ 東口の南北を往き来する自由通路の利便性の向上
				・ 西口自家用車乗降場の利便性向上
				・ 駅への交通アクセスの向上
				・ 魅力的な商業施設の充実
			● 地域交流拠点の充実	・ 行政サービスの施設の充実
				・ 子育て施設の充実
				・ 文化施設の充実
				・ 子育て世帯や高齢者の交流施設の充実
				・ 広い集会所の充実
最優先課題以外の課題	地 域 共 通		● 災害時や通行上の安全性の向上 (防災力を高める、安全な歩道の確保、国道2号などの渋滞の解消 など)	
			● 南畑踏切の安全確保	
			● 休憩する場所の確保	
			● 市内唯一の新幹線停車駅としての有効活用	
			● ソフトの活動の情報交流の推進	
			● ハードとソフトの活動の連携強化	
			● 西明石地域の商店街の活性化	
			● 南北の往来のアクセスの向上	
			● 医療、福祉、子育て支援施設の充実	
	各 校 区	和坂	● 谷池の有効活用	
		鳥羽・沢池	● 野々池貯水池の有効活用	
		沢池・藤江	● 密集した住宅地の安全確保	
		沢池・貴崎・藤江	● 十分なルートと便数が確保された便利なたこバス	
		藤江	● 藤江～松江海岸の有効活用	
		花園・貴崎	● 公園、広場などの確保	
		花園	● 商店街の活性化	
		貴崎	● 安全な歩道の確保	



西明石地域全体の「目指すこと」

西明石地域全体の「目指すこと」を地図へ落とし





込みました。



地域共通の課題の目指すこと

最優先課題の目指すこと

● J R 西明石駅及び駅周辺の安全性と利便性の向上

- ・ 東口の改札からホームまでのバリアフリー化
- ・ 東口の南北を往き来する自由通路の利便性の向上
- ・ 西口自家用車乗降場の利便性向上
- ・ 駅への交通アクセスの向上
- ・ 魅力的な商業施設の充実

● 地域交流拠点の充実

- ・ 行政サービス施設の充実
- ・ 子育て施設の充実
- ・ 文化施設の充実
- ・ 子育て世帯や高齢者の交流施設の充実
- ・ 広い集会所の充実
- ・ その他(情報提供コーナー、教室等の充実)

● 災害時や通行上の安全性の向上

(防災力を高める、安全な歩道の確保、
国道 2 号などの渋滞の解消 など)

● 南畑踏切の安全確保

● 休憩する場所の確保

● 市内唯一の新幹線停車駅としての有効活用

● ソフトの活動の情報交流の推進

● ハードとソフトの活動の連携強化

● 西明石地域の商店街の活性化

● 南北の往来のアクセスの向上

● 医療、福祉、子育て支援施設の充実

3 まちづくりビジョン

明石市の計画である『明石市長期総合計画』や『明石市都市計画マスタープラン』に加えて、協議会の目的である西明石地域の南北の一体化を図るために『まちづくりの姿』では、地域が抱える各「課題(困っていること)」に対する「目指すこと」を包括する西明石地域の将来像(ビジョン)を定めました。さらに、将来像を実現するための5つの地域づくりの目標を定めました。

まちづくりの検討ステップ

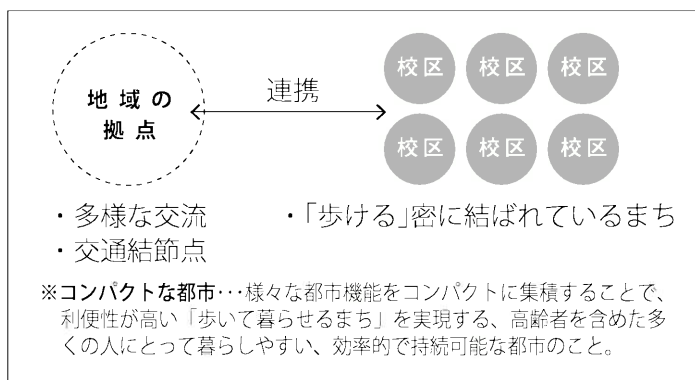


【将来像】

～だれもが安全で快適に暮らし続けられる西明石地域を目指して～

- 生活の安全性・利便性と豊かな自然が調和する明石の玄関口にふさわしい西明石駅を中心とする都市(まち)づくり
- 豊かな自然と都市機能が調和し、西明石駅を中心に南北が交流できる都市(まち)づくり
- 地域の拠点と各校区が有機的に連携したコンパクトな都市(まち)づくり

快適に暮らし続けられるコンパクトな都市※のイメージ



【地域づくりの目標】

①西明石駅を最大限に活かしたまちづくり

西明石駅は西明石地域の中心に位置し、かつ新幹線の停車する駅として、京阪神方面や県外への交通の利便性にも優れ、地域の拠点・明石の玄関口としての魅力が高いことから、市民や県外からの来街者に対し、駅へのアクセスと駅施設の更なる利便性を向上することにより、西明石駅の優位性を活かしたまちづくりを目指します。

②地域住民が世代を超えて交流する環境づくり

少子高齢化、核家族化の進行が想定される中、高齢者から子供まで世代を超えた交流を通じたコミュニティの形成が、より重要となっています。地域全体の拠点となる施設と、各地域の身近な施設との役割分担を図りながら、世代を超えて交流する環境の形成を目指します。

③誰もが快適に生活できる安全で安心なまちづくり

大規模災害への備えに対応するため、密集した商業地・住宅地での再開発事業・土地区画整理事業などの手法を用いた防災基盤の強化や、防犯、交通安全対策や医療の充実を図るなど、誰もが安心して快適に生活できるまちづくりを目指します。

④地域資源を活かしたまちづくり

新幹線停車駅、海岸線、公園、緑道、野々池などの地域資源を活かし、地域全体の安らぎと賑わいの創出を目指します。

⑤産業・商業・住環境が調和したまちづくり

駅南東部を中心とした産業や駅周辺などの商業の維持・発展を図りながら、住環境と調和した暮らしやすいまちづくりを目指します。



4 まちづくり方針（実現するための方策）

【将来像】と【地域づくりの目標】の実現を目指し、西明石地域の最優先課題への方針、最優先課題以外の課題への方針を掲げ、それぞれのまちづくりに取り組んでいきます。

（１）最優先課題への方針

当協議会では、ＪＲ西明石駅の利用者や地域住民等の意見を通して、最優先課題である「ＪＲ西明石駅及び駅周辺の安全性と利便性が低い」「行政サービス機能及び地域交流拠点が不足している」の掘り下げを進め、具体的な内容まで議論してきました。具体的な検討を踏まえた「目指すこと」とそれを「実現するための方策」を次に示します。

① ＪＲ西明石駅及び駅周辺の安全性と利便性が低いこと

【目指すこと】

- ＪＲ西明石駅及び駅周辺の安全性と利便性の向上
 - ・ 東口の改札からホームまでのバリアフリー化
 - ・ 東口の南北を往き来する自由通路の利便性の向上
 - ・ 西口自家用車乗降場の利便性向上
 - ・ 駅への交通アクセスの向上
 - ・ 魅力的な商業施設の充実

【実現するための方策】

西明石駅及び
駅周辺の整備

② 行政サービス機能及び地域交流拠点が不足していること

【目指すこと】

- 地域交流拠点の充実
 - ・ 行政サービス施設の充実
 - ・ 子育て施設の充実
 - ・ 文化施設の充実
 - ・ 子育て世帯や高齢者の交流施設の充実
 - ・ 広い集会所の充実
 - ・ その他(情報提供コーナー、教室等の充実)

【実現するための方策】

地域交流拠点の
整備

（２）最優先課題以外の課題への方針

当協議会では、最優先課題以外の課題として、身近な校区の課題から西明石地域全体に及ぶさまざまな課題についても議論してきましたが、具体的な内容の検討までは至りませんでした。

今後は、まず最優先課題以外の課題についても、課題の掘り下げを行い、具体的な内容の検討を進める必要があります。そうすることで各課題に対する「目指すこと」が明確になり、「実現するための方策」を検討していくことが出来ます。そして、各課題の関係性を考えながら議論を深め、西明石地域全体のまちづくりを進めて行く必要があります。

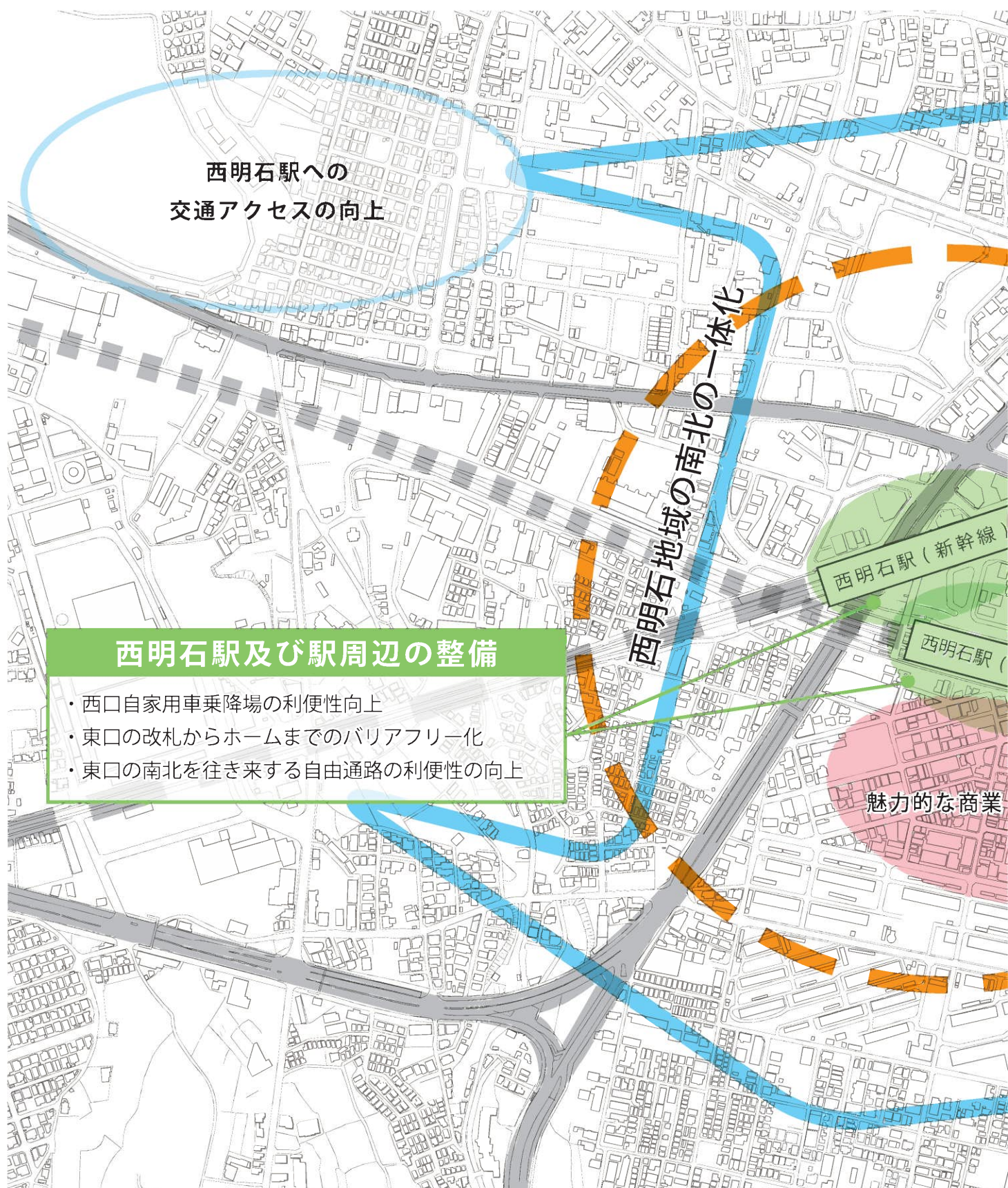
課題の掘り下げ（具体的な内容の検討）
⇒「目指すこと」の明確化

「実現するための方策」
の検討



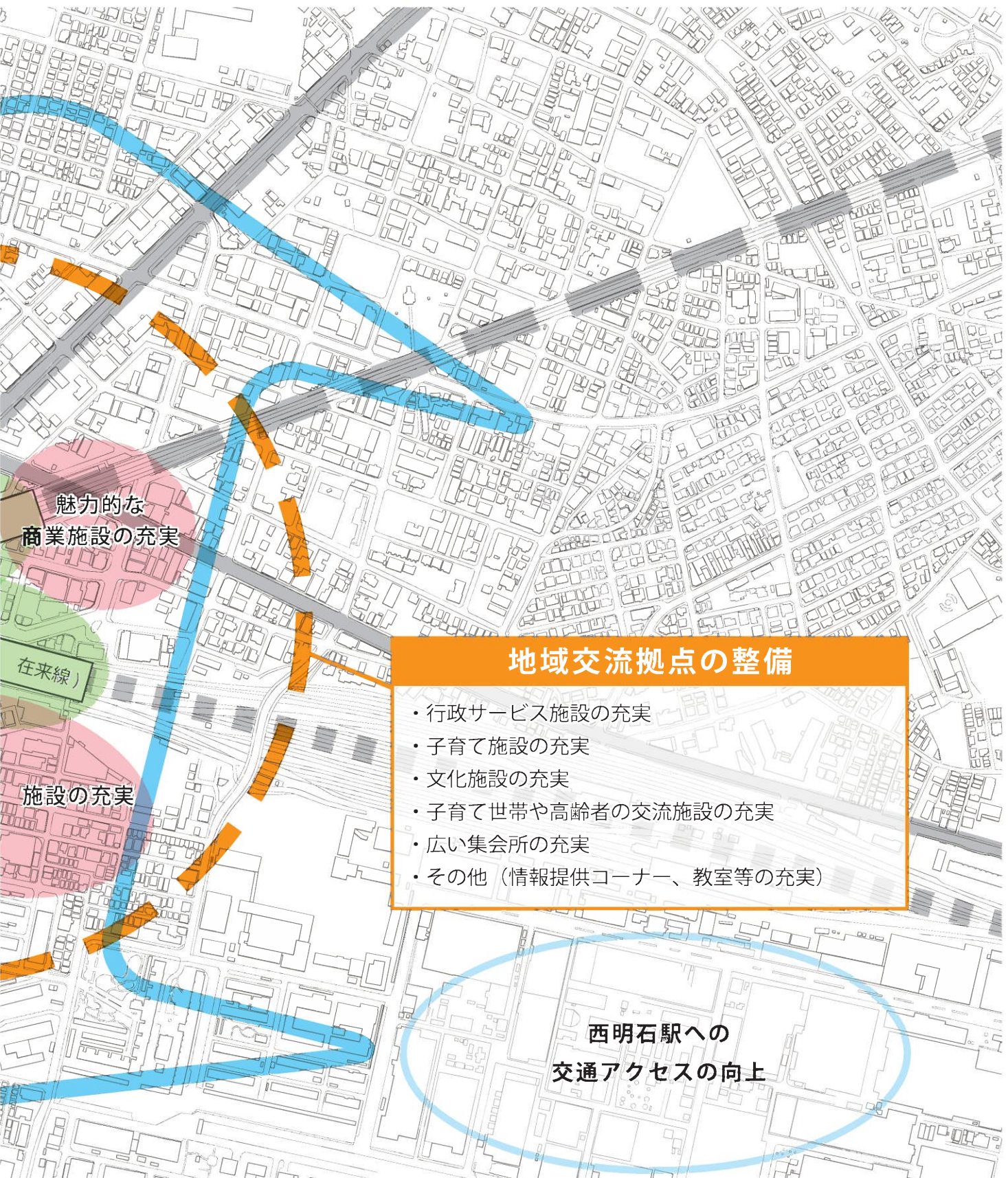
最優先課題への方針

最優先課題への方針を地図へ落とし込みました。「実現するための方策」





として、西明石駅周辺の整備と地域交流拠点の整備が進むにつれ、西明石地域の南北の一体化も進んでいきます。





5 今後のまちづくりにむけて

これまで説明してきたように、西明石活性化プロジェクト協議会では、現状把握と課題抽出、最優先課題の掘り下げや各課題の内容確認などを行い、「まちづくりビジョン」と「まちづくり方針」を検討し、『まちづくりの姿』としてとりまとめました。

『まちづくりの姿』は、明石市の計画である『明石市長期総合計画』や『明石市都市計画マスタープラン』との整合性を図りながらまとめたものであり、今後、各課題の内容や実現するための方策がまとまったものから、両計画へもその内容を反映していく必要があります。

そして、最優先課題及び最優先課題以外の課題の解決に向け、地域と行政が協力して「目指すこと」を実現するための各種施策や事業などを盛り込んだ具体的な計画を策定して行くことを求めます。

（１）最優先課題への対応

当協議会において具体的な内容まで議論されてきた最優先課題については、課題解決に向け、市が主体となり、地域、兵庫県、ＪＲ及び事業者などの参画を得た上で計画策定委員会が新たに設置され、平成２８年度以降の事業化を目標とした具体的な計画の検討・策定が進められていくこととなっています。

当協議会からは策定委員会に対し、当協議会で議論してきた内容を踏まえた上で、西明石地域の活性化につながる西明石駅及び駅周辺の安全性と利便性の向上に必要な機能やあり方を検討し、実現に向けた必要な施策や事業を明確にしていくことを求めます。さらに策定委員会は、地域からの要望に応じて事業の進捗状況の報告を行うとともに、地域住民や利用者等の声を聞きながら、効果的かつ実現性のある解決策を検討し、実行していくことが重要であると考えます。

（２）最優先課題以外の課題への対応

最優先課題以外の課題については、課題解決に向けて、地域と市が共に協力しながら、引き続き議論を深めていく必要があります。まず、各課題の掘り下げを行うことで具体的な内容の検討を進め、「目指すこと」を明確にし、その後、各課題に合わせた「実現するための方策」の検討を進めていくことが必要です。

当協議会からは、地域と市による新たな委員会において、組織のあり方や実現のための方策の検討はもとより、事業化に向けての積極的な取組みを進めることを求めます。

「最優先課題以外の課題への対応」については、「最優先課題への対応」について検討がなされる具体の事業との連携・整合を図りつつ、全体として調和のとれた方策を実行することで、西明石地域全体の活性化につなげていくことが重要であると考えます。



明石市の計画

明石市長期総合計画、明石市都市計画マスタープラン

西明石地域のまちづくり

『まちづくりの姿』（西明石活性化プロジェクト協議会）

【最優先課題】

課題の掘り下げ
(具体的な内容の検討)

【最優先課題以外の課題】
地域共通の課題、各校区の課題

最優先課題への対応
計画策定委員会

実現するための方策

＜整備計画の検討・策定＞
西明石駅及び駅周辺の整備
地域交流拠点の整備

最優先課題以外の課題への対応
必要な委員会を組織

課題の掘り下げ
(具体的な内容の検討)

各課題に合わせた
実現するための方策の検討

連携・
整合

計画に基づき順次事業化

西明石地域の活性化



お わ り に

昭和47年4月に出版された神戸新聞明石総局の「明石こそわがふるさと」という本の中に、「幼稚園から大学まで、ひと通り各学校がそろった住宅のまち。神明道路が安全をおびやかす鳥羽校区。」「新幹線の完成で、明石の中心地になれると意気込んでいる反面、雑然と密集した住宅街は窒息状態。国鉄と大企業の整然としたアパート群が目につく花園校区。」「飛行場跡に戦後生まれた住宅群と工場群。とくに最近では工場の増加がめざましく、子どもの遊び場がなくなっていく貴崎校区。」と記述されています。このように今日の西明石は40年前とはほとんど変わっていないことがわかります。

こうした中、平成23年4月、明石市の主動により、このまちの未来のあるべき姿を検討するため、学識経験者、明石市職員及び地域の代表者計18名のメンバーによる「西明石活性化プロジェクト協議会」が発足し、まちづくりの基本方向として、明石市と地域とが良きパートナーとなって、まちの安全と安心を基軸とし、西明石の南北の一体化による人々の交流の進展とJR西明石駅周辺地域を中心とした賑わいと活力に満ちたまちづくりをテーマに掲げ、協議を進めていくことといたしました。

以来4か年にわたり、「まちに元気がない」、「市民センターや高齢者ふれあいの里など他地域に比べ、公的施設が少ない。」など、日常生活の中での会話やその他各校区における住民や諸団体等の意見、アンケート調査などを通じて、今日の西明石が抱える様々な課題を明らかにするとともに、まちづくりへの具体化に向けた方策について協議しました。協議の過程においては、明石市と地域との間で重要な部分での考え方に相違が生まれ、調整に相当な時間が費やされましたが、双方の努力により、問題が解決され、ようやくこの度、まちづくりのシナリオとなる『まちづくりの姿』が出来上がりました。

この冊子には、やがては実現される新しい西明石の顔が垣間見えます。今こそ、明石市と地域が連携し、このまちの未来を拓く原動力となって、直面する諸課題を一つ一つていねいな解決策を用いながら、事業化に向けて着実に進めていかねばなりません。

明石市におかれましては、西明石の声に応えるため、今後のまちづくりへの確かな事業の進展に全力を尽くしていただきますことを強く要請いたします。

西明石活性化プロジェクト協議会

副会長 岩佐 肇



■ 西明石活性化プロジェクト協議会構成員

役 職	所 属	氏 名 等
会 長	神戸大学大学院 教授	三輪 康一
副会長	鳥羽校区	岩佐 肇
委 員	武庫川女子大学 講師	水野 優子
委 員	和坂校区	入江 俊勝
委 員	和坂校区	茶谷 紀元
委 員	鳥羽校区	竹中 康訓
委 員	沢池校区	森本 忠行(～H24.3)
委 員	沢池校区	吉田 弘 (～H24.3)
委 員	沢池校区	藤原 馨 (H24.4～)
委 員	沢池校区	大木 正 (H24.4～)
委 員	藤江校区	故 小野 一二三
委 員	藤江校区	伊藤 勝 (～H26.3)
委 員	藤江校区	伊藤 豊幸(H26.4～)
委 員	花園校区	池内 勝
委 員	花園校区	松本 茂子
委 員	貴崎校区	瀧井 輝也
委 員	貴崎校区	山口 泰造
委 員	明石市 政策部	和田 満 (～H23.8)
委 員	明石市 政策部	西川 勉 (H23.9～H24.11)
委 員	明石市 政策部	北條 英幸(H24.12～)
委 員	明石市 コミュニティ推進部	西川 勉 (～H23.8)
委 員	明石市 コミュニティ推進部	永野 潔 (H23.9～)
委 員	明石市 土木交通部	笹岡 正幸(～H25.3)
委 員	明石市 土木交通部	福田 成男(H25.4～)
委 員	明石市 都市整備部	寺山 陽三(～H24.3)
委 員	明石市 都市整備部	嶋田 邦男(H24.4～)

■ 協議会活動の経緯

[平成23 年度]

- ・まちづくりシンポジウム(4月3日)
- ・第1回協議会(4月3日)
- ・第2回協議会(5月30日)
- ・地域見学会(7月11日)
- ・第3回協議会(8月19日)
- ・各校区でのヒアリング(9月～10月)
- ・第4回協議会(11月10日)
- ・第5回協議会(2月21日)

[平成24 年度]

- ・第1回協議会(7月12日)
- ・ヒアリング調査(9月～11月)
- ・第2回協議会(11月28日)
- ・アンケート調査(12月～1月)
- ・第3回協議会(2月26日)

[平成25 年度]

- ・先進事例の視察(5月31日)
- ・第1回協議会(5月31日)
- ・校区別説明会(6月～9月)
- ・第2回協議会(11月11日)
- ・第3回協議会(1月16日)

[平成26 年度]

- ・地元調整会議(3回)
- ・第1回協議会(3月27日)

